

USBメモリーの紛失と再発防止について

平成26年8月29日

独立行政法人国立長寿医療研究センター

この度、USBメモリーを紛失する事態が発生したため、次のとおりその概要と再発防止等について公表いたします。皆様には、御心配、御迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。今後は、個人情報管理の更なる徹底を図り、信頼の回復に向けて努めてまいります。

1. 概要

この度、機能回復診療部のスタッフが病院内で一部個人情報を含む情報を記録したUSBメモリーを紛失し、平成26年3月4日から所在不明となっていることが判明いたしました。これまで敷地内を鋭意搜索して参りましたが、発見には至っておりません。当該USBメモリー自体にパスワードロックや暗号化はしておりませんでした。患者様1名とそこにご家族様の画像以外は個人情報を記録しておりません。

2. 記録個人情報

USBメモリーには、「患者様1名の家屋訪問時の患者様及びご家族様の写った動画データ」を記録しておりました。なお、当該患者様へはこれまでの経緯をご説明し、お詫びをさせていただきました。

3. 状況

紛失時より懸命に探しておりますが、これまで見つかっておりません。なお、現時点において把握している範囲では、個人情報の外部への流出は確認されておりません。

4. 再発防止

個人情報の管理についてあらためて徹底するため、全職員に注意喚起を行うとともに、管理者による職員の記録媒体の処理方法と保管状況の確認、個人情報に関する取扱研修の実施、定期的な監査等の実施を行い、再発防止に努めてまいります。